

人権・男女共同参画

「一緒に生きて行こう」—あなたの愛を求めています—

「一緒に生きて行きましょう」—生きるということ—

私は小学生の時、いじめに遭いました。大人からも子どもからも疎外されて行く苦い経験の中から、「口に出して言いたくても言えない経験をしている人々が、この世には沢山いる」ことを学びました。それで、これまで光のあたっていなかった世界や人々、差別をされている人、苦しみの中で頑張っている人など、「言いたくても言えない経験をしている」弱い立場の人々に目を向け、私は取材をし続けて来ました。

いじめられていい人やお子さん、そして暴力を受けていい人やおさんは、この世に一人も存在しません。人は、生まれてくる時、時間も場所も選べません。みんな平等です。なのに、差別やいじめが生まれてしまうことがあります。では、どうしたらいいのでしょうか？ 取材や経験を通じて私が感じ、学んだことをお話しします。

現場に行き、必ず本人から取材をさせてもらう私は、皆さんに、ありのままの現状をお話しすることができます。普段見えていない社会の一面で、沢山の弱い立場の方々が頑張って生活をされています。

人権は、人が生きて行くために、どうしても必要なもの、侵害されてはならないものなのです。私は常に弱者の立場に立って、本やテレビで発言をし続けて来ました。真実を知ることにより、人権について、一緒に考えてみましょう。そして、愛をさしのべて下さい。一緒に生きている人がいてくれると思えたら、弱者は弱者でなくなるのです。取材を通じて学んだ「人権」そして「男女共同参画」についてお話しします。人権を守り、人に思いやりを持つには、どうしたらいいか、取材話を通じて、やさしくお話しします。